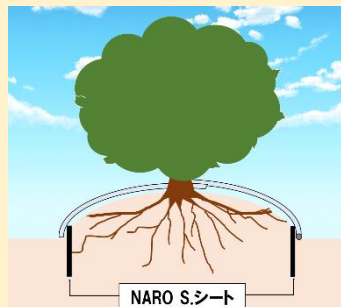


# S. マルチの品質向上効果と経営評価の実証

(カンキツ輸出に向けた高糖度果実安定生産技術と鮮度保持技術の確立事業)

近年、温暖化により大雨及び短時間強雨の発生頻度は増加しているが、農研機構が開発したS. マルチは、従来のシートマルチ栽培に比べ雨水の流入を防ぎ、高糖度果実安定生産を目指す技術である。本県における導入事例はほとんどないが、現地実証園を設置して経営評価と実用性の検討を行う。



## S. マルチとは、

排水設計に基づき整地した園地において、埋設したNARO S. シートで樹列間の土壌を仕切り防水・防根を確実にして、シートマルチ栽培を行う技術。慣行シートマルチ栽培よりも安定して高糖度果実が生産できる。大雨 (<80mm/h) に対応するほか、園内の車両通行が容易になるため、省力樹形による大規模経営にも適する。

